

非社会性昆虫ニホンホホビロコメツキモドキ による酵母の栽培

講演者: **土岐和多瑠** Toki Wataru

所属 : 京大大学生態学研究センター



宿主が共生生物を食物として栽培し、消費する栽培共生は、ハキリアリやキ/コシロアリ、養菌性キクイムシなどの社会性昆虫においてよく知られている。演者らは、非社会性昆虫の一種ニホンホホビロコメツキモドキと酵母の栽培共生を発見した。ニホンホホビロコメツキモドキのメスは左右不相称な頭部と発達した前脚という特異な形態を示し、それらを用いて竹に孔を穿って産卵する。メスは酵母を腹部にあるポケット状の器官(マイカンギア)に入れて運搬し、産卵時に酵母を接種する。幼虫は酵母に対して絶対的栄養要求性を示し、竹のみでは成長することができない。

本セミナーでは、ニホンホホビロコメツキモドキがどのように酵母を栽培しているのかについて紹介し、社会性昆虫や他の非社会性生物に見られる栽培共生との比較を行いたい。

尚、セミナー終了後に懇親会もございますのでご参加ください!!

